

# 健康と光線

## 光線害悪論を憂える

古代の人々は、光線に当たると快く、身体のためになることを経験で知っていた。未開の穴居民は、各所の遺跡から明らかのように、光線を慕って窟を必ず東向きか南向きに造った。原始民族は太陽を神として崇めたが、今でも未開の民族の間にその風習は残っている。有史以降も、光線を医療に応用した記録は数多く、その一部は「光線療法学」に記載した。殊に前世紀末から今世紀の初頭にかけて、光線を治療に用いる機運が高まる兆しを見せたが、その後の治療医学は薬や手術に傾き、自然治癒力の源でもある光線の作用を軽視する風潮を助長しただけでなく、科学の名のもとに、光線の弊害をあげつらうことすらするようになった。

特に昨今、紫外線カット商品の

コマーシャルを介して、光線、なかなか紫外線に対する悪口雑言を見聞きしない日はないと言っても過言でない程であるが、光線軽視の風潮が光線不要論から光線害悪論にまで及ぶとなると大変危険で、と

んでもないしつぺ返しを食らうことを覚悟しなければならぬ。

ビタミンDを造るのは光線だけ

誰でも知っている光線の作用に、紫外線のビタミンD生成がある。しかし光線を浴びないと、意外そうな顔をする人がいる。このような人は、ビタミンDも他のビタミンと同じようにバランスのとれた食事で補えると思っただけであるが、実際に地上でとれる全ての食品に必

発行所  
〒153  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行  
会費年500円  
電話 東京 (03)  
3793-5281  
3712-5322

## 太陽に自然の恩恵を感じる人は健康に恵まれる(その3)

冬の健康保持はサナモアで  
サナモア光線協会  
サナモア中央診療所 医学博士 宇都宮 光明

光明

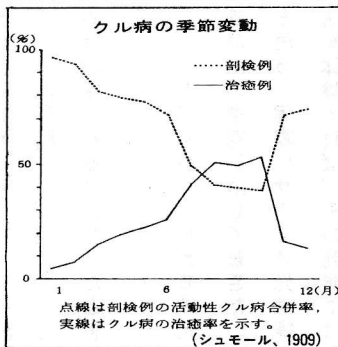
ビタミンDは冬に不足する  
四季の明瞭な

れは老若男女を問わず、全ての人に共通である。

他方、ビタミンDは薬で補えばよい、と言う人もある。これは金銭面を度外視して考えても、少なくとも次の点から望ましくない。

(1) 光線浴でなく、必要にして十分なビタミンDが容易に出来るが、ビタミンDには欠乏症だけではない。

要量を満たすビタミンDは含まれていない。一例を挙げれば、母乳のように乳児にとって極めて優れた食品でさえ、ビタミンDだけは欠けている。反面、光線浴をすれば簡単に出来る。こ



く過剰症もあるため、真に必要な量を薬で補うのは難しいこと。(2) 光線浴の効用は単にビタミンDを生成するだけではないこと。自然の生態系のルールは、は

るかに人知を超えたものである。このルールに従うことこそ肝要である。

国の紫外線の量は、季節によって大きく変動し、冬は夏の四分の一から五分の一になる。その上、厚手の衣服をまとって光線を遮るため、ビタミンDが払底する事態を起こし易い。これを裏付ける研究の一つに、秋に生まれ春に死んだ子にはクル病の所見があるが、春に生まれ秋に死んだ子にはクル病の所見がな

いことがある。これらの報告は、クル病の発病率が季節で変動することを示しているが、この点について、シムールが四年の歳月を費やして三八六例の剖検を行い、病理学的にクル病の季節変動を立証した成績を図に示した。

冬の健康保持はサナモアで

カルシウムの吸収、利用を円滑にし、丈夫な筋骨を造るビタミンDの過不足は、欠乏症であれ過剰症であれ、文明がもたらしたものである。而して、ビタミンDの不足は、クル病、骨軟化症、骨粗鬆症を起こすだけでなく、抵抗力を弱め、あらゆる病気にかかり易くなるが、これら全てを文明病として捉える必要がある。即ち、冬の紫外線が極めて弱いのが国の場合、光線不足を補って骨を丈夫にし、抵抗力を高め、あらゆる病気を予防するために、サナモア光線療法を活用して戴きたい。

あけまして  
おめでと

いびいます

平成六年 元旦

サナモア光線協会

(五日より営業します)

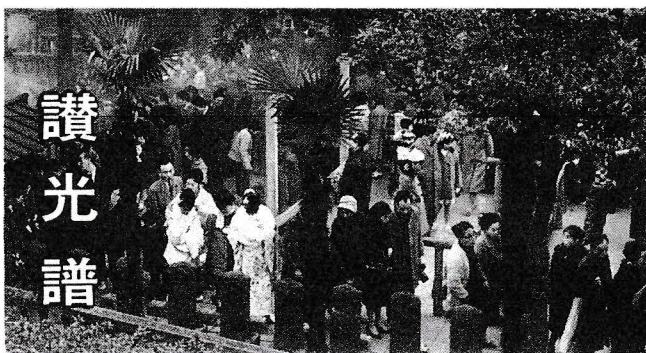




泉岳寺「赤穂浪士の墓」

宇都宮義真撮影

## 讃光譜



もののはじめは  
こんなもの

○ベンジャミン・フランクリンの電気の実験は、あらゆる人々から嘲笑された。

○エヂソンが電灯を発明した時、ヘンリー・モートルトンさえ、大失敗だと断言した。

○ジョージ・ウェスチングハウスは空気ブレーキを発明したことで、浪費家として鉄道を解雇された。

○アレクサンダー・ベルが電話を発明した時には、その権利を買おうとした者は一人も居なかった。

○大実業家チオンシー・デビュは、甥がヘンリー・フォード会社に五千ドルの投資をしようとした時に、自動車に馬に追いつけるか、と言って止めさせた。

○イギリス王立医学会は、パームのくる病は日光療法で治る」との報告に対して、クワッ

カリ（いかさま治療）と非難した。

## 特効薬に勝るもの

○今度、こんな特効薬が発見された、と得意げに話す人がいる。恐らく広告の受売りであろうが、特効薬を本気で信じていると見える。

○特効薬とは、一体、何なんだろう。これまでも数多くの特効薬と呼ぶ薬が作られたが、何時とはなしに消えてしまう。

○特効薬を求めて、慢性病に苦しむ人が右往左往し、あれこれ迷っているのを見ると気の毒になる。

○世の中は案外に広いもので、特効薬に勝るものがある、と言う人がある。それが生体に備わった治癒力、と言うのである。

○サナモア光線療法は、その治癒力を高める治療法である。

○道を歩いていて、サナモア光線療法を無理にでも勧めたい

人は沢山いるが、体験者以外にはその功德は分からない。

○サナモアで病気が治りました、とわざわざお礼に来られる方がいる。手紙や電話で知らせてくれる方もある。

## 光線療法の側面

宇都宮 義真

○そんな時には、何とも言えぬ喜びを感じる。良かったと思う。

○一人でも多く、サナモア光線療法の恩恵に浴して戴きたいと思う。実際にサナモア光線療法を体験すれば、その効能には

驚くばかりである。

サナモアを照射すると

- 発育が良くなる。
- 風邪を引かなくなる。
- ご飯がおいしくなる。
- 身体が温まる。
- 顔の色艶が良くなる。
- 良く眠れる。
- 血の巡り(血行)が良くなる。
- 血圧が下がる。
- 骨が丈夫になる。
- 毒がなくなる。
- 疲れがとれる。
- 細菌が死ぬ。
- 熱が下がる。
- 痛みが和らぐ。
- 痒みが止まる。
- 便通が良くなる。
- 下痢が止まる。
- 小便が遠くなる。
- 咳が止まる。
- 若返る。

「光と熱」

昭和12年6月25日

―サナモアを照射すると―

昭和14年3月1日

―電磁波―

昭和14年4月1日

―もののはじめはこんなもの―より要約した。



## 日本療術学会から

ホテル セントラーザ博多

平成五年十一月十四日

光線療法で寛解に導入し得た  
進行性全身性硬化症の一症例宮城県療術師協会  
小川 美行

## (はじめに)

進行性全身性硬化症と診断された一症例に光線療法を行い、皮膚硬化所見の消失を含め全身状態の著明な改善を経験したので報告する。

## (症例)

患者 61歳 女性 会社役員

名古屋在住

主訴 四肢ならびに軀幹の皮膚硬化

既往歴 特記すべきことなし。

現病歴 平成二年八月頃より、

足首から膝にかけて赤紫色の斑点を生じ、関節痛があったため、

近くの皮膚科で診察を受けた。そこで悪性の蕁麻疹と診断され、注射と内服薬を続けたが、斑点は四肢から軀幹にかけて左右対

称性に拡大した。そのため不安になり、総合病院に転医して検査を受けたが、そこではリウマチらしいと診断された。

本例は前から光線療法の愛用者で、平成二年十二月に名古屋から演者の治療院に相談に見えた。

来院時、四肢、軀幹に皮膚硬化を認め、特に下腿の皮膚は褐色で、かたかたに光り、硬くつまむとすら出来ない状態で、発毛、発汗とも欠如していた。この症状から判断して、悪性の蕁麻疹ともリウマチとも思えないため、宇都宮先生の診察を受けるように進言した。平成三年四月に先生の診察を受けたが、患者を一見して強皮症の所見があるの

で精密検査を受けるように言われ、慈恵医大病院で検査を受けることにした。

平成三年六月から、内科と皮膚科で、血液検査、尿検査、レントゲン検査、皮膚の組織検査など様々な検査を受け、七月に進行性全身性硬化症と診断された。しかし幸いなことに、消化管、腎、肺などの内臓には異常を認めなかった。

病名が確定した翌日、患者や患者の家族とこれからの治療方針について相談したが、先生の意見も参考にして申し合わせた要点は次の三点である。

(1)現代医学に確たる治療法が

なく、治療の根幹をなすのは、日常生活で保温に努め、皮膚や末梢の血液循環を促すことであり、この目的に添って光線療法に専念する。

(2)光線療法は同時に四台の治療器を用いて四灯全身照射を行う。

(3)経過観察、病状把握のため、月に一回は病院の診察を受ける。

ただし特異的な薬はなく、対症療法薬にも相当の副作用が考えられることから、薬の服用は極力避ける。

その後の治療は自宅で行ったが、患者には、長期戦だからあまり身構えることなく、光線照射を日々の生活の一部にするように、と話した。

治療ならびに経過 光線療法は、全身照射を一日二回、患部照射を一日一回の計三回行った。カーボンは患者に合うのを探するため、当初は一週間は全身照射、即ち足裏、腹、腰、背は光線の各波長を均等に放射するAカーボンで、皮膚硬化が著しい患部、殊に下腿には血流を促す意味で相対的に赤外線を豊富に放射するBカーボンで、各45分照射した。二週目は足裏はAカーボンで、腹、腰、背はAに可視線を豊富に放射するDカーボンを組み合わせて、患部はBとDを組み合わせて照射した。三週目は足裏はA、腹、

背、患部はBDで照射した。その結果、二週目の組み合わせが気持ち良く合うようだと言うので、それで当分続けることにした。

本格的に治療を始めて一カ月経った八月頃から、悪くなる一方だった症状が小康状態を保つようになったが、光線療法の効果が出始めたかと判断できる旨を説明し、希望をもって照射するよう助言した。九月に病院を受診したが、腹や背や腰の皮膚硬化が明らかに改善していたため、医師から「他に治療してありますか」と聞かれたが答えなかった。医師は皮膚の写真を何枚も撮ってから、薬を受け取って帰るよう

に、と言った。

それから今日まで光線療法を続けているが、下腿部の高度の皮膚硬化も消失して正常な皮膚に戻っており、治療前に比べると、患者自身でびっくりするほどである。この間、治療を始めて一年経った平成四年七月に受診した際に、医師は「薬は飲まなくても良いでしょう。東京に用事でもあったら、また見せて下さい」と言ったと言う。また平成五年四月、念のため病院を受診した際、医師から「皮膚が蘇生し、スネ毛が生えてきたね」と言われた。なお病院で投薬された薬は一度も服用していない。

## (考察)

進行性全身性硬化症は皮膚硬化に様々な内臓病変を伴う慢性進行性疾患で、根治療法はなく、難病として厚生省特定疾患に指定されている。本症の原因は不明だが、病状の進行に微小血管障害および免疫異常の関与が考えられている。また本症に対する一般的な注意事項として、末梢血液循環障害に対し、日常生活で保温に気をつけ、皮膚を清潔にし、外傷から保護することが求められる。また関節の拘縮を防いで関節可動域を保ち、筋力を増すことも大切である。

一方、光線療法には、血液循環を促し、関節の拘縮を防ぎ、関節可動域を保ち、筋力を増す作用に加え、免疫応答を調整する作用がある。そのため本症に對し適応があると考えて治療した。なお本例は、以前から腰痛のため腰や腹に光線を時々照射していたが、これが本症に特有の内臓病変を抑えた可能性を指摘したい。また発病してからは四灯照射を行い、通常の光線療法で使う光線よりはるかに大量の光線を全身に照射したが、これが予期した以上の効果につながったと考えられる。なお現在、患者は完全寛解の状態にあるが、今後とも注意深く経過観察を続ける所存である。



## 新方式に至る経緯

私はサナモアの素晴らしい効果を体験に依って知り、昭和56年にサナモアの普及を目的に販売会社(株)健松器材)を設立し、「一家に一台」をキャッチフレーズに営業活動を始めました。ところがサナモア愛用者が増えるに連れて、口コミで、二台、三台と買い増しする人が増えてきました。その上、これらの人達には口を揃えて一様に多灯照射の方が効果がある、と言います。当時、何れサナモアの普及のために実際に体験できる治療院を開設する計画を立てていましたので、それから数年かけて使用する治療器の台数と照射時間と

効能効果の関係、あるいはその安全性を調査しました。

昭和62年6月、念願がなかった、サナモア治療院を開設しましたが、サナモアと言っても、光線療法と言っても、知る人ぞ知る範囲の治療法ですから、宣伝広告の意味がありません。要はサナモアで効果のあった人が、その効果を口伝えに伝えてくれるしかないのです。言い換えれば、治さなければ患者は来ない、と言うことです。そのためにはこちらから一方的に治療するのではなく、多数のサナモア愛用者の意見を取り入れた、効果的かつ安全な治療法でなければなりません。加えて、光線は素肌に直接照射しますので、患者の

台の光線治療器を設置し、基本照射と患部照射を同時に45分間行うことにしたのです。ドーム式の覆いをしたのは、保温効果も重要な要因ですが、同時に患者のプライバシーの保護にもつながります。当院では男性の光線療法師が治療を担当しています。開院当初は中年以降の患者が大半でしたが、治療効果に加え、ドーム式が知れるに連れて若い女性患者も増え、今では患者の年齢層は平均化しています。

## 治療力の源は血液の流れ

私の持論ですが、健康を保つ上で最も大切なのは血液の流れと考えています。血液は細胞の物質代謝に必要な酸素、栄養、各種代謝産物の移動運搬を始め、ホルモンや免疫物質のような生体情報の伝搬や、炎症病巣に必要に応じて白血球を動員します。即ち、あらゆる生命活動を司っていると言っても良いでしょう。

うに、血液の流れが悪いと生命活動は大きく阻害されます。ところで、ドーム式のベットの四灯照射すると、光線的作用と保温効果が相まって、普通なら20分程度で汗が滝のように流れますが、このことから分かると、速やかに全身の血管を拡張し、血液の流れを促進します。その結果、ポンプとしての心臓にかかる負担が軽くなり、血圧が下がると同時に、光線によって生じた光産物を始め、ホルモンや免疫物質を豊富に含んだ活力ある血液がスムーズに流れるようになります。その上で、患部の明確な病気の場合には、その病気に最も効果のある光線を患部に追加照射することによって、患部照射のみでは得られない優れた効果を得ることが出来る、と考えています。

## 著しい循環機能の改善

ドーム式ベットで四灯照射をすると、前述したように循環機能は著明に改善します。この点について、当院での循環器疾患の治療例で説明します。

当院の治療例の中に、心臓の栄養血管の冠動脈不全で、息切れして20mも歩けなかった患者がいます。この患者の場合、四回の全身照射で汗が出るようになり、一ヶ月で買い物のついでに街を一回りしても平気になりました。その上、夏でも寒くて戸を開けられなかったのが、それも苦にならなくなりました。また高血圧の患者で、上が200、下が120でも、大多数の例で一、二回の治療で殆ど正常範囲まで下がります。この治療で20前後しか下がらないとしたら、これまでの経験から、血圧降下剤が効きにくいため副作用に苦しんでいるような患者と考えるとおおよそ間違いありません。このように循環器疾患に顕著な効果があるのは、血管が拡張し、血流が良くなった何よりの証拠です。

今回発行した「健康と光線」に、サナモア光線療法に関する様々な体験を寄稿してくださった小川美行氏は、仙台市内でサナモア光線療法を実体験できるサナモア治療院を開設し、その代表として、サナモア光線療法の普及に力を尽くして

## サナモア光線療法に

校運動部でのスポーツ障害や外傷の治療経験(七、八面に掲載)によく表れています。ここではこの治療法を応用するに至った経緯ならびに実際の効能効果について紹介して貰いました。

なお小川美行氏は、現在、東日本サナモア



仙台サナモア治療院代表  
小川 美行

## 射した四灯同時照射 ら生まれた治療法



## ドーム式ベットを

— 体験者のニーズ

難治な疾患で効果を  
得るには

光線療法を  
している、  
病院で治療  
しても思わし  
くない慢性疾患  
や難病の患者

ニトロ（狭心症発作の治療薬）を手放すことが出来ず、不安で旅行も出来ない状態でした。そんな折りに私は、騙されたと思って四灯照射を試して見なさい、と勧めました。佐竹氏は、発作の度に死ぬのではないかと思っていたらしく、自宅で四灯照射を始めました。結果は申すまでもなく、今では完全に健康を回復しています。佐竹氏の奥さんは、四灯照射にするまで光線療法を全く信用していなかったのですが、ご主人が狭心症発作を起こさなくなったのを見て、すっかり光線党に変わりました。佐竹氏は百年続いた老舗の酒販売店を経営していたのですが、店を弟に譲り、奥さんと一緒に治療院でサナモアの普及活動をされています。

に接することは珍しくありません。私はこのようなガンコな患者に治るまで治療院に通え、と言うのは光線療法の真の効果がどういうものか分かっていないのだ、とよく話します。毎日、朝、昼、晩と三回照射すれば、拡張した血管の中を活性化された血液が流れますから、生体の持つ治癒力をフルに活用できることを知らなければなりません。毎日、三回照射するには、自宅療法を併用しなければ不可能です。それも一灯照射では、効果があるとしても進行を止めるのが精一杯のように思います。その一例が、昨年度の日本療術学会で報告した進行性全身性硬化症（三面に掲載）です。

## 美容・瘦身に役立つ

治療院での数々の治療例と私

注に新境地を開く  
新しい治療方式を導入し成果を挙げています。この新方式の治療法による具体的な効果については、平成5年度の日本療術学会に於いて報告した進行性全身性硬化症の治療例（三面に掲載）や、仙台育英高

自身の体験から、今では当院の常識になっていますが、シミ、青アザ、シワは消えますし、太っている人、痩せている人は、共に正常な体重に戻ります。この点については、私自身の体験を述べます。昭和60年頃に左の目尻の1cm程下に、径1cm大のシミらしきものがあることに気付き、顔を洗う時に特に気を遣って手入れをしていたのですが、日が経つにつれて段々と黒づんで、いかにもシミと分かるようになってきました。平成一年に宇都宮先生に北海道で会った時に、「先生、これシミじゃないですか」と言ったら、「シミだよ。でもシミがある人は長生きするよ」と当時、43歳だった私にとって相当ショックなことを言われたことを未だにはっきり憶えています。

ここで突然に尾籠な話が変わって恐縮ですが、私の持病は痔病で、起こすとその都度肛門に照射して治していましたが、平成2年の秋に悪質な肛門周囲膿瘍にかかり、自宅と治療院の自室で肛門に一灯照射しましたが一向に治りません。この時、当院の助手が、治療室に入って全身照射をしてみたらどうですか、

患部のみの照射が  
良いこともある

これまで述べた慢性疾患や難病のような場合には、私どもの経験では、明らかに全身照射が優っていますが、健康な人が受けた傷害の場合、例えば、ギックリ腰、捻挫、打撲、火傷などは、はるかに患部への局所照射が効果的です。これらの傷害では、患部の血流を最大限に促して循環する血液量を増やすことが治りを

## まとめ

早めると考えています。この点については、当院での四灯全身照射と家庭での局所照射の治療成績を比較すると分かります。

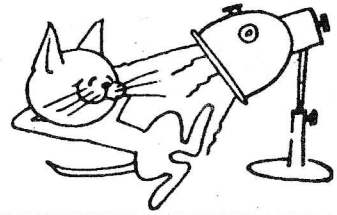
光線が生理機能に及ぼす作用は極めて多方面にわたりますが、実際に難治な疾患に光線療法を行う立場から言えば、全身の血管を拡張し、光線によって活性化された血液が身体の隅々まで行き届ってこそ、光線療法の効果を最大限に発揮出来るものと考えています。この目的に合致する治療法として、体験者から教えられたことを参考に、ドーム式のベットを使って全身に四灯同時照射する治療法を考案しましたが、この治療法で他にも難治な疾患に罹病した患者で驚くような効果が見られており、その成果については自負しております。

おわりに、本稿が光線療法を専門に日々精励している治療師にとって、あるいは難治な疾患で苦しんでいる人々にとって、幾ばくかの参考になることを願っています。

(宇都宮記)

(宮城県仙台市泉区市名坂鹿島74-13  
TEL 022-1375-1316(代))





## 報告例治

### ☆ノイローゼ

**症例** 47歳 男性 鉄工場経営  
**症状** 経営状態が悪くなり始めた平成五年二月頃から、不眠、頭痛、胸が締め付けられる感じを起すようになり、今までにない疲れを覚えるようになった。そのため病院で診て貰い、安定剤を二ヶ月服用したが、傍目にも段々悪くなり、この分だと工場より先に身体が駄目になると案じた友人が光線を掛けてくれた。その二日後、本人から頼んで二回目の照射をしに再び友人宅を訪ねたが、本格的に光線治療をしたらと勧められて来所した。

**身長** 170cm・体重75kg・胸に厚みがありガッシリしている。

**療法経過** ABカーボンで足裏20分、膝10分、腹10分、腰10分、背10分、後頭部(集光器使用)10分、目を閉じて目と額10分照

射した。二日おいた二回目は、前回の照射部位に加えて、BDカーボンで右上腹部10分、ABカーボンで左右の首筋10分照射した。以後、自宅治療に移行。その二週後に来所したが、全身の倦怠感は何時の間になくなり、食欲も出て、不眠も気にならなくなった、と言いい、顔色も良くなっていった。一ヶ月後には、頭痛も殆どしなくなり、本も読めると喜んでいった。その後、一ヶ月余りして、経理を手伝っている長女がカーボンを購入しに来たが、「父の口数が多くなり、職場の雰囲気が出るくらい周りは喜んでいきます。不況は相変わらずで

### ☆脳性小児麻痺

**症例** 1歳 男児  
**症状** 四ヶ月になっても泣かず、六ヶ月を過ぎても身体がクニャクニャして首が座らず、手足は冷たく、便もほじらないと出ないし、目で物を追わず、音にも反応しないため、再度診察を受けた結果、脳性小児麻痺で治すのは難しいと言われた。それで光線療法に望みを託して来院されたが、当院でも、健康保持に必要な保健的な効果はあるが、原疾患には治療をした上で判断するしかない、と話したが、母親の希望で引き受けることにした。

### ☆肉ばなれ

**症例** 44歳 女性  
**症状** 病人の介護をしていて、湯船で倒れそうになったので必死に支えた際に、右手の肘の部分に肉ばなれを起こし、それから親指や人指し指や中指に力を入れると肘に激痛が走るため、右手で絞ったり掴んだりする動作が困難になった。

すが、父が今のよう日に日に良くなってくれば、必ず苦境を乗り越えられるという希望が持てます、と明るく言っていた。

神戸市 ウエノ光線療研  
 上野 健太郎氏報告  
 TEL078-133211-1358

**療法経過** 生後一年から三歳八ヶ月まで治療した。最初は身体に力がないため、母親に支えて貰って二灯照射した。先ず側臥位で、前頭部と尻5分、腰と膝5分、腹と足裏10分、後頭部5分、次に仰臥位で、左耳10分と右肩と側腹部に各5分、右耳10分と左肩と側腹部に各5分、左から甲状腺と右から膝に5分、右から甲状腺と左から膝に5分照射した。

治療を始めて二ヶ月程で手足が温かくなり、三ヶ月で目で物を追ひ、四ヶ月で音に反応し、六ヶ月で首が安定してキョロキョロするようになった。その頃から、手足がピクピク動くようになり、ウーとかアーとか声を出し、少しずつ話をするようになった。二歳を過ぎ、両手に力が付き母親の手を引っ張って起きようとするようになり、二歳六ヶ月で物を掴めば座れるようになった。当院では二年八ヶ月治療したが、身長、体重の発育はほぼ順調で、腰からは動くようになったが、立つこと、歩くことが出来なかったのが心残りである。現在は病院の歩行訓練センターでリハビリに励んでいる。

川崎市 東京光線治療院  
 海渡 一二三氏報告  
 TEL044-722150六七

### サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、サナモアA、B、C、Dと効果が同じという根拠もないような文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので、どうかご注意ください。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついています)

東京光線療法研究所

**療法経過** 当初、暇を見付けては肘を中心に照射したが、患部に熱さを感じず、また痛みを我慢して懸命に看病や家事をしたため、痛みは肘から肩の周辺にも及んだ。早く治さなければと焦りもあって、効くという他の二、三の治療も受けたが、却って数日間は症状がひどくなり後悔したこともあった。

それからは光線のみによって治療した。しかし日々の暮らして右手に相当の負担が強いられる状況から判断して、完全に治るのに三ヶ月はかかるだろう、と話したが、実際には三ヶ月弱で完治し、日々の仕事も楽になせるようになった。結論として、「やっぱり光線が一番、色々迷わないこと」と話し合ったが、他の治療をしたことで治るのに遠回りしたようである。なおカーボンは、BB、BD、BCを交互に使用した。

春日市 育美健康光線療研  
 前田 ミサ氏報告  
 TEL092-1581120三九



## 躍進する仙台育英高校運動部

## 陰で支えるサナモア光線療法



## スポーツ選手とけが

スポーツによるけがは、野球で投手が肩や肘を壊すように、そのスポーツに特有な同一動作を繰り返すことで起こすスポーツ障害と、骨折のように、比較的大きな一回の外力で起こすスポーツ外傷に分けられますが、これらスポーツ障害・外傷に対し、サナモア光線療法は著効があります。その上、スポーツの前後に光線療法をしますと、筋肉をほぐしてけがを予防するだけでなく、全身の血管を拡張して血液の流れを促し、心肺機能を高

め、運動能力を増す効果があります。この点について、仙台サナモア治療院での経験を振り返ってみました。

## 甲子園のマウンドに立つ

私も、仙台育英高校の運動部に所属する選手のスポーツ障害や外傷の治療に関わりを持つようになったのは、昭和61年のことです。同校野球部のエースの日君が肩を痛めて投げられなくなりました。その時、サナモア光線療法で腰痛を治した経験がある同校野球部のT監督に連れられて相談に見え、光線療法を始めたのが切っ掛けです。球を投げられないと悲嘆にくれていた日君ですが、光線療法を重ねる度に見る見る快方に向かい、見事に甲子園のマウンドに立つことが出来たのです。昭和61年8月1日の日刊スポーツ新聞に日君のインタビュー記

事が掲載されていますが、サナモア光線療法のお陰で投げられました、と言ってくれました。ところで現在、特に投手のスポーツ障害が多発しているため、日本高校野球連盟でも平成5年11月17日に山形でこの点に関する初の研修会を実施しておりますが、野球に伴う様々なスポーツ障害に光線療法をしてきた立場で言わせて貰えば、各人の治療力を高めることが最善の処置であり、この目的に添った光線療法のこれまでの実績から判断して、解決はさほど難しくないと考えています。なお同校野球部では、現在、八台のサナモアはつらつさんと二台のドーム式ベットを使って、選手

のスポーツ障害の治療・予防を図り成果を挙げています。

## 全日本高校卓球選手権で準優勝

同校卓球部のレベルは高く、中でもS嬢は全日本クラスの選

手ですが、練習中に突然腰に激痛が走って曲げることすら出来なくなり、平成4年12月2日に先生に連れられて来院しました。その時の状態は、腰全体に激痛があり、全く曲がらず、頭を少々下げる動作でも腰に痛みを訴えるほどでした。

スポーツ障害・外傷の治療・予防  
だけでなく運動能力を増進する

仙台南サナモア治療院 小川 美行

## 早速、光線

療法をしましたが、基本照射を20分程してから、腰と腹にBBで一時間照射したところ、腰は40度位まで曲がるようになり、痛みは右腰に集中してきました。翌日は俯せで左側に枕を入れ、BBで右の臀筋に直角に45分、次いで右を上にした側臥位で右腰に35分照射したところ、照射後には痛みはなくなり、立って両手が床につくようになりました。

しました。監督は、S嬢が授業で30分程椅子に座っていると腰がうずく、と言っているが、11日後に迫った全日本高校卓球選手権に出られないのでは……、実は気掛かりだったのでハリの先生に相談したら、三日で完全に治してやる、と言われたが、サナモアなら何日で治るか、と言う。私は二回の治療でここまで良くなっているのに、今更ハリ治療に取られるのは如何にも悔しいが、人それぞれ障害の度合いが異なり、治療する立場では最善を尽くす、とは言えても、何日で、それも極めて短期間で治ると確約は出来ないと思いましたが。そこで考えた末、私は監督に、あと二日下さい、但し今日から治療は一日二回にします、もしそれで駄目ならハリの先生に診て貰って下さい、と話了解を得ました。それから、午前の治療は前述した方法に準じて、午後の治療は全身照射を中心に行いました。その結果、治療を始めて四日目に腰のうずきはなくなり、念のため試合で仙台を離れるまで治療を続けました。

△ハページへつづく▽



## △セージからつづく△

S嬢は腰痛が完治した状態で試合にのぞむことが出来ました。が、見事に全日本卓球選手権で準優勝を飾り、日本代表選手に選ばれ、中国で開催されるアジア大会に出場することになりました。なおその後、卓球部ではサナモアはつらつさんを二台設置し、時に応じて当院での治療と併用しています。

## ケニアからの留学生ランナー

仙台育英高校陸上部には、ケニアから男子2名、女子2名、計4名の留学生ランナーがいます。その中のジェシントアと言う

女子学生が、来日して三ヶ月程してから足の故障で走れなくなったのです。そのため市内の病院はもとより、スポーツ障害で有名な京都の病院にも行きましたが、原因不明と言われ、改善の兆しもないため、当人はもとよ



ジェシントア(右)とエスタワンジェロ(左)

り監督も悩んでいました。

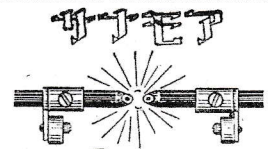
当院には同校関係者の勧めもあって平成4年11月に来院しましたが、左足のスネは腫れ上がり、指で押すと指の痕跡がそのままだけに残り、痛みを訴えていました。取り敢えず、足裏AA、患部に両側からBB、腹腰AAで一日一回の照射を続けることにしました。三回目位から腫れているところが下方に移るのに連れて、痛みがなくなり、指で押しても痕が残らなくなり、七回の治療で再び走れるようになったのです。

ケニアからの留学生ランナーをシリーズで取材していたNHKテレビは、走れなかったジェシントアが僅か7日の治療で走れるようになった有様を目の当たりにしたため、是非とも治療の様子を取材したいと同校を通して当院に申し入れがありました。取材はNHKとテレビ朝日から受けましたが、NHKは平成4年12月4日のミッドナイトジャーナルで、テレビ朝日は同年12月28日の久米宏のニュースステーションで、当院での治療の様子が放映されたので見られた方もいると思います。

平成5年度の全国高校駅伝は、京都で12月26日に開催されます。

仙台育英高校の選手の中には、男子ではダニエルジェンガ(七ページ写真右)とジョンマイタイ(七ページ写真左)、女子ではジェシントアとエスタワンジェロがいます。平成4年には足の故障で残念ながら出場出来なかったジェシントアも、今回は満を持して出場するでしょう。ジェシントアと一緒に毎日全身照射を続けているエスタワンジェロは、日本を代表する長距離ランナーの有森選手や浅井選手を抜き去った英姿がテレビで放映されましたので記憶されている方もいるでしょう。言うまでもありませんが、男子の二人も光線照射を続けています。同校は今回の駅伝では男女とも好成績が期待されていますが、同校陸上部の活躍の陰にサナモア光線がある、と言っても過言ではありません。なお陸上部でも野球部と同様、ドーム式ベットの二台使って、選手のスポーツ障害の予防と能力アップに活用しています。

(本紙がお手元に届く時には試合の結果は出ていますが、これからも活躍が期待されますので応援して下さい。)



Senemoto

サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従って、目に見えない可視光線だけでなく、目には見えないが無くしてはならない紫外線や赤外線を目的に適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三—五二八一 (三七一—五三三三)

(本紙の無断転用を禁止します。)